

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	編集後記
別タイトル	EDITORIAL POSTSCRIPT
公開者	東邦大学医学会
発行日	2013.09
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 60(5). p.316 316.
資料種別	その他
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD92191529

第 60 巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬 (株)	ミカムロ/ミカルデイス	中外製薬 (株)	ゼロータ
第一三共 (株)	ネキシウム	大日本住友製薬 (株)	アバプロ
(株) ジェイ・エム・エス		興和 (株)	リバロ
大塚製薬 (株)	ムコスタ	大塚製薬工場 (株)	エルネオパ
塩野義製薬 (株)	オキシコンチン 他	シーメンス・ジャパン (株)	Biograph mMR
大鵬薬品工業 (株)	アロキシ	武田薬品工業 (株)	アジルバ
田辺三菱製薬 (株)	レミケード	(株) ツムラ	六君子湯
(株) ヤクルト本社	カンプト 他		

(ABC 順)

編集委員会

編集長：並 木 温

編集委員：金子弘真 佐地勉 杉山篤

周郷延雄 高橋寛 高橋啓

津熊久幸 瓜田純久 (ABC 順)

編集後記

今回は原著論文 3 編と症例報告 1 編が掲載された。いずれの論文も大変興味深い内容であった。おそらく著者の先生は、掲載されるまで、指導者の先生、査読の先生方とのやりとりで大変ご苦労されたことでしょう。おめでとうございます。

さてここで、これから論文を書かなくてはいけない若手の先生に一言アドバイスがあります。誰でも医師になると、学会発表に慣れるため、最初は症例報告の機会が与えられます。今は高名で、学会では権威とされる先生であってもおそらく例外なく、最初の発表は緊張したことでしょう。さて、2, 3 回発表すると次第に発表することには慣れてきます。しかし、どこの医局でも言われることだとは思いますが、発表をただけではいけません。可能であれば、なるべく早く論文にすることを勧めます。文章を書くという課程で、自分の知識が整理されます。やっとできあがった論文を投稿したところ、査読の先生にさまざまな指摘を頂いたり、最悪の場合には reject されることもあるかもしれませんが、そんなことでめげてはいけません。自分の論文に何が足りないのか、どのように直すべきか、さらには査読の先生とのやりとりをすることも勉強です。最後に、自分の書いた論文が publish された時の喜びはひとしおです。症例報告は非常に大切です。適切な治療法を検討するためには、先人の報告を読み込むことが必須です。その課程で自分の目の前の症例が、実は非常に珍しい症例であることに気がつくことがあります。

日本語論文に慣れてきたら、次の step は英語論文です。最近では、インターネットを介しての投稿になり、昔のよ

うに写真を貼ったり、郵送する手間が省けました。皆さんご存じだとは思いますが、国際言語である、英語論文は評価されます。自分の中で、1 回は掲載されてみたい雑誌を決めて、日々努力することをおすすめします。もし不幸にして掲載されなかったら、次に try する雑誌、さらにはその次も決めておくといいでしょう。ちなみに教授職であっても一発で accept されることはまずありません。最近では open access journal といって紙媒体でなく、インターネット上の雑誌も多々あります。一流雑誌は症例報告が掲載されにくいのでおすすめです。

今後、東邦大学を担っていく若手の先生方には、是非、論文を書く習慣を身につけていただき、東邦医学会雑誌のみならず、できれば国際英文誌にも積極的に投稿して頂きたいと思います。Never give up !

(高橋 寛)

東邦医学会雑誌 第 60 巻 第 5 号

平成 25 年 9 月 1 日発行

編集兼 並 木 温
発行人〒143-8540 東京都大田区大森西 5 丁目 21 番 16 号
東邦大学医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3762-5077

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原 3-46-10

株式会社 杏林舎